



自衛隊栃木地方協力本部

宇都宮短期大学附属高等学校祭で広報展 ～高校生と楽しく交流！自衛隊をPR～

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 大橋2陸尉）は、11月3日（金）宇都宮短期大学附属高等学校祭に参加して広報展を実施した。

宇都宮短期大学附属高等学校（徒数約2,400名）は、明治33年創立の歴史ある学校で、宇都宮募集案内所から最も近い場所に所在する学校である。

広報展では、組み紐教室、制服試着、73式小型トラック及びパネル展示を行い、例年にない暑い日差しの中、大勢の来場者で賑わった。制服試着では、来場者は好みの制服を選び73式小型トラックの前で決めポーズで写真撮影を楽しんでいた。また組み紐教室は、毎年人気があり子供連れの家族から高校生まで300人が参加して、組み紐作りに熱中していた。組み紐作りが大好きという男子高校生10名が手伝ってくれるという場面もあった。手伝ってくれた高校生からは「楽しいので、今年も組み紐作りの手伝いを希望しました！」と頼もしい声があった。

宇都宮短期大学附属高等学校には調理科があり、長年、宇都宮駐屯地での体験入隊を支援していることから、顔見知りの広報官を見つけると駆け寄ってきて挨拶してくれるなど、和やかな雰囲気でのイベントとなった。

宇都宮募集案内所は、「引き続き学校との良好な関係を維持し、自衛隊への興味及び理解を促進し募集活動に繋げていく」としている。



制服を着て決めポーズ



大盛況の組み紐教室の様子



募集説明を聞く高校生

広報展「壬生町総合産業まつり」～町内産業の活性化～

自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所（所長 宅原2陸尉）は、11月3日（金）、みぶハイウェイパーク（栃木県下都賀郡壬生町）で実施された「壬生町総合産業まつり」において、中央即応連隊（宇都宮）の支援を受け広報展を実施した。

この産業まつりは、壬生町内の事業者をより活性化することを目的として、「壬生町内産業のPRを通じた、本業の活性化」をメインテーマとし、『ここで輝く壬生の産業！』をスローガンに実施され、広報展では、高機動車展示、装備品写真展示、制服試着及び自衛隊紹介コーナーを設け、子供から大人まで沢山の来場者が訪れ、制服の写真を撮ったり高機動車の運転席に座ったりして楽しんでいた。

小山地域事務所は「今後も、自衛隊に対する興味や理解促進に努め、自衛隊を身近に感じてもらえるよう広報イベントに積極的に参加していく」としている。



制服試着を楽しむ来場者



高機動車展示試乗（中央即応連隊）



沢山の方が来場